

令和5年度 自己評価結果公表シート

安威幼稚園

1、本園の教育目標

いつでも、どこでも、だれとでも仲良くできる、やさしい元気な子

1、いつも「園児中心」の教育を行います。

- ・元気な「あいさつ」ができる子ども、明るく「返事」のできるこどもを育てます。
幼稚園では、「おはようございます」で始まり、「さよなら」で終わります。挨拶は、人間形成の上、もっとも大切な基本です。
- ・基本的な生活習慣が身についたこどもを育てます。
- ・豊かな情操と、心身ともに健やかなこどもを育てます。
- ・心のつよいこどもを育てます。
- ・小学校へ円滑に進めるこどもを育てます。

2、つねに、家庭との連携を図ります。

3、つねに、幼児教育にふさわしい環境づくりに努めます。

4、楽しい英語レッスンを通して、グローバルな視野をもった子どもを育てます。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・一人ひとりの幼児をよく観察し、発達の姿を理解する。
- ・園の教育課程をもとに、保育の計画をたてる。
- ・地震や火災などの防災について再確認する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
けがや事故には常に気をつけ、各学年に応じた適切な環境構成やことばがけを行う。	園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はしていないか常に観察している
幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を考える。	体操指導の講師、音楽指導の講師と打ち合わせを行い、各学年の発達に応じた保育を展開している。

朝と帰りのあいさつは明るく、親しみを込めて行う。	日常の幼稚園生活の中でのあいさつは、個人によって違いは出るが、概ね園児から行う事ができる。特に年長児は丁寧にあいさつすることができる。
情報発信、ＩＣＴ化の活性化を図る。	出欠確認、降園時の打刻、預かり保育の打刻については十分活用している。ただし、集計については職員の再確認が必要となる。徐々にではあるがペーパーレスを多く試み、保護者にスムーズな伝達ができるようになりつつある。
特別支援についての研修参加、一人ひとりに適切な指導を行う。	カウンセラー、市の巡回指導員の助言を基に指導行い、個々の発達に役立てている。
教育の質を向上するため、研修参加を重ねる。	新任、２、３年目の教諭については、定期的に内部研修を行っている。他教諭については外部研修も参加するが、保育時間の関係から市内での研修のみとなっている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

常に保育に対しての向上心、研鑽などを通して、子どもたちの成長のために努力を続けてほしい。
--

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
預かり保育の充実と人員増員を図る。	年々預かり保育の希望者増えるが、担当の職員確保が難しくなっている。
園庭開放をできるだけ行う。	令和５年度から園庭開放を行うようになった。参加希望の方も多数あり、けがや事故のないよう多く行う。

園の教育課程は社会状況や幼児の実態を考慮し見直しを行う。	指導計画、行事の内容などマンネリ化しないよう常に変化を持つ。
------------------------------	--------------------------------

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。良好な環境の下で運営され、教育の向上が見られたという意見をいただいた。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
